

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
日本文学講読Ⅰ	岡崎 直也	2	高校非常勤講師(現代文・古典)、大学非常勤講師(近代日本文学・卒業論文・論文作成法・言語表現)、短期大学非常勤講師(近代日本文学・卒業論文・実地研究)
書道Ⅰ	横倉 佳男	2	担当教員は、1986年度からで中学・高等学校の教諭として勤務し、授業実践をしている。教育実習生の受入指導を担当した年度もある。生徒指導の実践、校務分掌の責務も果たしてきている実務経験を活かし、教職の意義や教員に求められる資質・能力についての指導を行っている。
表現文化演習Ⅰ（２）	川口 晴美	2	詩人として活動し、自ら書くだけでなく詩誌その他で投稿作品の選者をつとめたり、社会人向けの詩の講座の講師を長年担当したりしている教員が、さまざまな方向性・レベルの詩を数多く読んでアドバイスしてきた経験を踏まえて学生たちの実作指導をする。
日本文学各論Ⅰ	杉本 圭司	2	2013年4月、「考える人」（新潮社）に小林秀雄についての長編批評「契りのストラディヴァリウス」を発表。同年から現在に至るまで、小林秀雄をテーマとした講義を各所で実施。2019年9月、「小林秀雄 最後の音楽会」（新潮社）を刊行。他に「小林秀雄全集」の注釈、「人生の鍛錬 小林秀雄の言葉」（新潮新書）の編集協力など。
日本語教授法Ⅰ	有賀 千佳子	2	日本語学校等の現場を経て、大学の留学生日本語教育を行う。また、専門職大学院や日本語養成講座などで、日本語教員の養成を行う。
放送文化論Ⅰ	須郷 信二	2	講師は、TBSテレビ、TBSラジオで、報道、番組制作に長年携わってきました。また、6年間人事部で採用にも関わっており、マスメディア志望者の就活アドバイス希望は歓迎です。
身体表現文化論Ⅰ	三遊亭 遊吉	2	落語家による授業。実際の落語を通して、江戸文化、また言葉、笑いのパターンなどを知ることが出来る。落語の原点・発生についての理解が可能となる。
古典教育研究Ⅰ	塚原 明弘	2	都立高校で、教師を40年勤めました。定時制や職業高校から進学校まで経験しました。痛切に感じるのは、定時制で生徒の関心を引くために工夫したことが、進学校でも必要だったということです。進学を前提としない生徒に、知や教養の魅力で関心や好奇心を喚起しようと思いました。それが、合格や偏差値にとらわれた生徒にも有効だったのです。君も、教育の道に踏み出したならば、生徒とともに成長してほしいと思います。
文学部 日本文学科			専門教育科目の合計単位数 16 単位

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
中国古典読法基礎	渡辺 正一	2	高等学校教諭としての指導実践、教科書の指導書や各種参考書・問題集の企画・執筆・監修等の経験、そして本学での研究と実践（Zoom遠隔授業実践も含む）を活かして、できる限り丁寧にわかりやすい授業をしたい。
中国原典研究Ⅲ	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
中国原典演習Ⅲ	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
中国民俗文化概説	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
人文総合基礎Ⅲ	青木 洋司	2	高等学校の教員として実務経験のある教員が、高等学校までの学習内容との連携を視野に入れ、中国思想、特に儒家思想の理解を深めることを目指す科目である。
中国民俗文化特殊講義 A	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力について留意して授業を行っている。
中国学特殊講義 XⅢ（生活文化）	浅野 春二	2	高校国語科の非常勤講師として、授業実践を行ったことがある。中学・高校の漢文の授業に必要な知識・読解力についても留意して授業を行っている。
文学部 中国文学科			専門教育科目の合計単位数 14 単位
フランス語演習ⅠA	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習ⅠB	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習ⅡA	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
フランス語演習ⅡB	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
ドイツ語展開演習 A	小笠原 藤子	2	各種資格試験に携わっている経験から、よりの確な指導をすることができる
ドイツ語展開演習 B	小笠原 藤子	2	各種資格試験に携わっている経験から、よりの確な指導をすることができる
フランス語展開演習 B	笠間 直穂子	2	翻訳家としての経験を活かし、生きた日本語と結びつくかたちでのフランス語習得を目指す授業を行っている。
文化総合演習 A	笠間 直穂子	2	ライターとしての経験を活かし、読みやすい日本語の文章表現習得を目指す授業を行っている。
文化総合演習 B	笠間 直穂子	2	ライターとしての経験を活かし、読みやすい日本語の文章表現習得を目指す授業を行っている。
文学部 外国語文化学科			専門教育科目の合計単位数 18 単位

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
日本史概論Ⅰ	高橋 秀樹	2	授業担当者は、本学着任までの約18年間、文部科学省の教科書調査官として、日本史教科書の検定調査に従事していた。
考古学概論Ⅱ	青木 敬	2	市教育委員会学芸員・独立行政法人研究員として旧石器時代～中世にわたる調査経験をもとに、遺跡・遺構・遺物といった考古資料から日本列島のあゆみを紹介する。
日本時代史Ⅶ	栗田 尚弥	2	日中交流団体（（財）霞山会、戦前の東亜同文会）の日中関係史をまとめるプロジェクトにしばしば参加し、現在も同会のＨＰに日中関係史に関する記事を連載中）。
史料講読Ⅰ	手塚 雄太	2	博物館学芸員・自治体史編さん事業事務局職員としての実務経験を有する。
考古学各論Ⅰ	大工原 豊	2	地方公共団体での埋蔵文化財専門職員および博物館学芸員としての26年間の実務経験を活かし、具体的事例を多数紹介しながら授業を行う。また、講義のテーマだけでなく、遺跡の調査や遺物整理、調査報告書作成についての合理的な方法についての講義も行う。
考古学各論Ⅱ	中村 耕作	2	國學院大學考古学研究室助手→國學院大學栃木短期大学→国立歴史民俗博物館で縄文遺跡の調査・研究を実施
考古学各論Ⅲ	寺前 直人	2	埋蔵文化財を扱う専門職の経験がある。
史学情報処理 中級	植田 真	2	これまで30年以上に亘り、測量を専門とする株式会社パスコで遺跡調査における考古学的測量技術について実践経験を積んできました。考古学と遺跡調査と測量技術が自分の専門の3本柱です。これまでの業務経験を踏まえた講義を展開し、学生諸君が考古学を学ぶモチベーションを上げたいと考えています。最近では縄文原体の研究を本格的に始めて12年ほどになります。これまでも測量技術を応用した縄文原体に関する論文を発表し、将来の新しい研究方法について模索しています。その内容は後期史学専門講義で行います。本授業でも文様としての縄文に関する情報について第12回あたりに紹介する予定ですが、より深く知りたい諸君は是非後期授業の履修をお勧めします。
考古科学	工藤 雄一郎	2	博物館職員としての実務経験を有する教員が、考古学における自然科学的分析手法に関わる実務経験を活かし、植物考古学について教育を行う。
文化景観各論Ⅱ	佐々木 健策	2	地方公務員としての経験を踏まえ、公務員としての歴史学との関わり方や地域の歴史の見方、研究法を例示します。
日本文化史Ⅱ	種村 威史	2	大名家文書などの史料収蔵機関、多摩地域の自治体史刊行事業、文化財行政などに関わる中で、古文書を中心にした史資料の調査や保存・管理の研究に従事してきた。
自然地理学	小松 陽介	2	防災科学技術研究所での研究員としての実務経験を有する教員が、自然環境に関わる実務経験を活かし、自然地理学についての教育を行う。
史学専門講義（考古学）	佐々木 由香	2	遺跡における自然科学分析を実施する会社での勤務を踏まえて、分析方法を講じる。
地域からみた日本の歴史Ⅳ	黒川 徳男	2	栃木・茨城・埼玉・東京などの自治体史編さんの実務経験を有する教員が、農村の地域史に関わる経験を活かし、農村・農業の近代史・地域史についての教育を行います。
文学部 史学科 専門教育科目の合計単位数			28 単位

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
基礎演習ⅡA	洲脇 朝佳	2	・講師は学芸員としての勤務経験がある。授業にはその経験を活かし、実物の作品がもつ魅力を実感がこもった言葉で伝えられるよう努める。あわせて、学芸員の仕事や現在の美術館・博物館等の動向（展覧会情報等）についても紹介したい。
基礎演習ⅡB	洲脇 朝佳	2	・講師は学芸員としての勤務経験がある。授業にはその経験を活かし、実物の作品がもつ魅力を実感がこもった言葉で伝えられるよう努める。あわせて、学芸員の仕事や現在の美術館・博物館等の動向（展覧会情報等）についても紹介したい。
日本美術史 A	洲脇 朝佳	2	・講師は学芸員としての勤務経験がある。授業にはその経験を活かし、実物の作品がもつ魅力を実感がこもった言葉で伝えられるようにしたい。現在の美術館・博物館等の動向（展覧会情報等）についても可能な限り紹介する。
日本美術史 B	洲脇 朝佳	2	・講師は学芸員としての勤務経験がある。授業にはその経験を活かし、現在の美術館・博物館等の動向（展覧会情報等）や学芸員の仕事についても可能な限り紹介したい。
美学・芸術学特殊講義ⅠA	藤原 えりみ	2	専門分野：西洋美術史および現代美術史フリーランスのアートライターおよび編集者・翻訳者としての経験に基づいて、幅広い視点から美術作品やアーティストについて解説する授業を行う。
美学・芸術学特殊講義ⅠB	藤原 えりみ	2	専門分野：西洋美術史および現代美術史フリーランスのアートライターおよび編集者・翻訳者としての経験に基づいて、幅広い観点から美術作品やアーティストについて解説する授業を行う。
美学・芸術学特殊講義ⅢB	小池 寿子	2	美術展覧会などの企画、カタログ執筆などにさまざまな事業に関わった経験から、美術史のきわめて基本的なアカデミーの教育理念について学ぶとともに、それに対するアンチテーゼとしての芸術の在り方について学んでほしい。
文学部 哲学科 専門教育科目の合計単位数 14 単位			
民事訴訟法ⅠA	佐藤 彰一	2	弁護士経験20年（高齢者・障害者の権利擁護分野）、民事調停委員20年
国際経済取引法	清水 茉莉	2	弁護士・国家公務員としてWTO紛争解決手続を含む国際通商法分野の実務に10年弱従事した経験を踏まえ、国際通商法が実務上の問題においてどのように機能しているか、今後どのような規律がどのように形成されるべきかに特に関心をもって講義を行う。
経済法 A	天田 弘人	2	講師は、独占禁止法を専門的に運用する国の行政機関である公正取引委員会（内閣府の外局）に勤務している国家公務員であることから、実務家としての経験・認識、（独占禁止法に限らない）法律の条文の読み方や解釈の作法についても紹介していくこととしたいと思います。
消費者法	竹谷 啓子	2	2011年から現在に至るまで消費生活相談員として勤務（2017年からは独立行政法人国民生活センター相談情報部に勤務）し、消費者問題の最前線で消費者への助言やあっせん業務に携わっています。
行政学 A	稲垣 浩	2	横須賀市都市政策研究所（横須賀市企画調整部）、財団法人自治研修協会で研究員として勤務。自治体の審議会委員、研修講師としての経験あり。

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
日本外交史 A	冨塚 一彦	2	外務省外交史料館において、外交史料集『日本外交文書』の編集を担当。特に戦前期の日中関係を主として担当してきたので、重要な関係史料を数多く紹介していきたい。
メディア論	持田 周三	2	新聞社の政治記者、テレビ局の報道担当などを務め、主として政治分野の取材・報道やマスメディアの経営などに携わってきました。そうした実務経験を活かして、取材・報道現場の実情、メディアの内実も紹介しながら、ネット時代の報道・ジャーナリズムのいま、これからを考えていきます。授業を通じて、ニュースを通してみなさんの社会への関心が強まり、メディアリテラシーが高くなることに役立てればと思います。
N P O 論	若林 秀樹	2	民間企業従業員、労働組合役員、国家公務員（在米大使館書記官）、参議院議員、米国シンクタンク研究員、国際NGOやネットワークNGOの執行責任者の経験等を踏まえ、グローバルな視点で、ビジネス・セクター、労組、行政府、立法府を含めた社会における市民社会組織の役割からNPO論を講じている。
法教育演習	今井 秀智	2	弁護士
心理学 A	伊澤 冬子	2	臨床心理士ならびに公認心理師の資格を有し、教育機関および医療機関での心理職として心理面接・コンサルテーションを担当した経験のある教員が、心の仕組みと働きについて学修する授業を行う。
地域研究演習（イギリス・オーストラリアの法と社会）	ジョン・ミドルトン	2	オーストラリアおよびニューヨーク州において弁護士登録をしている。
フィールドワーク（取材学）	岩田 一平	2	朝日新聞記者、週刊朝日副編集長、アサヒカメラ編集長、朝日新書編集長を歴任。マスコミ採用選考の作文を指導するペンの森株式会社代表取締役。著者に『「欠点」を「強味」に変える就活力』（サンマーク出版）、『縄文人は飲んべえだった』（朝日新書）、『ハイテクで解く縄文の謎』（大日本図書）、『珍説奇説の邪馬台国』（講談社）、『遺跡を楽しもう』（岩波ジュニア新書）
法学部 法律学科 専門教育科目の合計単位数 24 単位			
経済学特殊講義（証券アナリスト）	福田 徹	2	講師は、現役で上場企業の証券アナリストレポートを書いている。上場のアドバイス、上場企業のInvestor Relationsのコンサルティングも行っている。直近ではESG、統合報告書、気候変動対策のアドバイスもしている。
情報システム	高橋 尚子	2	ICT企業での実務経験を持つ担当教員が、ICT社会における情報システムとこれからのスマート社会について解説する授業である。
データ管理	三ツ矢 眞紀	2	電気メーカーの営業部門にて、Accessを利用したデータベースの構築と運用管理、及び部署内のパソコン教育を担当。1998年から資格の学校等で、情報処理技術者試験の試験対策講座を担当（現在はITパスポート講座、情報セキュリティマネジメント講座を担当）。
プログラミング	岡田 長治	2	IT企業での実務経験を持つ担当教員が、プログラミングの基礎知識を講義する。
経済学部 共通専門教育科目の合計単位数 8 単位			

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
金融の基礎	塚崎 公義	2	1981年から2005年まで日本興業銀行（現みずほ銀行）に勤務し、金融関連の業務に従事していた。その時の経験をもとに「世の中で実際に起きている、生きた金融現象」についても学生の理解を深めたい。
アジア経済史	高橋 克秀	2	日本経済新聞記者として国際経済の取材経験豊富。
行動経済学	和田 良子	2	銀行系シンクタンクにおける勤務上場企業の社外取締役
経済学部 経済学科		専門教育科目の合計単位数	6 単位
ベンチャービジネス	太原 正裕	2	ベンチャーキャピタル、金融機関等に20年以上の実務経験のある講師が、業務の経験を活用しながら講義を運営する。ベンチャービジネスの経営の実例やケーススタディを用いて、受講者に現実を理解させるように努める。
現代ビジネス	手塚 貞治	2	約30年間のコンサルタント経験をもつ教員が、実務経験を踏まえて指導を行う
マーケティング	白鳥 和生	2	非常勤講師（日本経済新聞社勤務）
流通論	矢嶋 剛	2	流通システムの研究：社団法人流通問題研究協会在籍時に、流通機能連関（例製配販連携、日本版ECR等）についての調査研究。共著に『医薬品流通論』（東京大学出版会、ISBN 4130401971）
組織行動	辻 和洋	2	・読売新聞大阪本社記者、産業能率大学総合研究所職員などを歴任職場内のプロジェクトリーダーとして成果を残した経験がある組織開発のチェンジエージェントとして学校教員の働き方改善を実践した経験がある
広告論	端 義幸	2	大手電機メーカーで30年以上、広告、コミュニケーション、マーケティングの実務に関わってきた。その後5年間化粧品会社でインスタグラム立上げ、PR等のコミュニケーション業務に携わってきた。そういった経験やネットワークを活かして、より実践的で社会にでて役に立つ授業にしていきたいと考えている。
公会計	金子 良太	2	担当教員は、公会計分野における実務経験を有しています。
税務会計	佐藤 謙一	2	過去に国税庁等で勤務し、現在は税理士として実務に携わっている担当教員が、税金を計算する目的で課税所得等を算出する税務会計について解説する授業である。
国際会計	関根 俊	2	米国・日本において、米国証券取引委員会（SEC）登録企業を含む米国および日本企業の会計監査に従事した後、2001年から主にグローバル企業に対してIFRSの知見も生かして広範囲なM&A関連サービスを提供しており、本講義では理論と実務の両面からIFRSを解説していく。シカゴ大学経営大学院修士課程修了（MBA）。米国公認会計士（カリフォルニア州）
経営分析	太原 正裕	2	金融機関、投資会社等で20年以上勤務した講師が、業務の経験を活用しながら講義を運営する。講義においては企業の実例を用いて受講者に現実を理解させるように努める。
ビジネスソリューション	手塚 貞治	2	約30年間のコンサルタント経験のある教員が、コンサル実務を踏まえて指導を行う。
経済学部 経営学科		専門教育科目の合計単位数	22 単位

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
宗教考古学I	笹生 衛	2	県教育委員会事務局の文化財保護の専門職員として埋蔵文化財の発掘調査と、指定文化財の保護・活用に従事しました。また、公立博物館の学芸課員、青少年教育施設の専門職員としての勤務経験もあります。
宗教考古学II	笹生 衛	2	県教育委員会事務局の文化財保護の専門職員として埋蔵文化財の発掘調査と、指定文化財の保護・活用に従事しました。また、公立博物館の学芸課員、青少年教育施設の専門職員としての勤務経験もあります。
祝詞作文I	岸川 雅範	2	神職として日々、御神前にて祭祀を行い、参拝者の参列する中で祈願に奉仕している。
祝詞作文II	岸川 雅範	2	神職として日々、御神前にて祭祀を行い、参拝者の参列する中で祭祀や祈願に奉仕している。
神社管理研究I	岡市 仁志	2	現在、神社本庁主事
神社管理研究II	岡市 仁志	2	現在、神社本庁主事
神道と書道I	高橋 智紀	2	高等学校教員として芸術科書道の授業を長年担当。楷書・行書をはじめとする各書体および篆刻・仮名などの書道分野を広く得意としている。賞状類・講演会演題等の筆耕経験が豊富であるほか、高等学校芸術科書道の教科書で硬筆ページを執筆している。
神道と書道II	高橋 智紀	2	高等学校教員として芸術科書道の授業を長年担当。楷書・行書をはじめとする各書体および篆刻・仮名などの書道分野を広く得意としている。賞状類・講演会演題等の筆耕経験が豊富であるほか、高等学校芸術科書道の教科書で硬筆ページを執筆している。
神道教化概論I	新井 君美	2	神社本庁教学研究所、その後は渉外部渉外課長を経て、現在は秩父神社を本務とするほか兼務4社の宮司、埼玉県神社庁研修所講師などを兼務し後進の指導にあたっている。鎮守の森コミュニティ研究所特別研究員、社会保険労務士資格保有など。
神道教化概論II	新井 君美	2	神社本庁教学研究所、その後は渉外部渉外課長を経て、現在は秩父神社を本務とするほか兼務4社の宮司、埼玉県神社庁研修所講師などを兼務し後進の指導にあたっている。鎮守の森コミュニティ研究所特別研究員、社会保険労務士資格保有など。
神道と国際交流II（2）	岩橋 克二	2	担当教員は現任神職で、神社本庁の国際交流実務担当の職員・責任者として、第一線で活動した経験を有する。学生は、教員の実務経験に即した課題意識に導かれながら、国際交流とは何か、日本文化や他国・他宗教の知識、英語で表現できること・できないこと、これまで神社神道が行ってきた国際交流、について学び、交流実践に必要な力を身につける。
神道文化学部 神道文化学科 専門教育科目の合計単位数			22 単位
日本の伝統文化	藤田大誠	2	大学のみならず、神社関連団体や諸学会、メディア等に依頼された各種講習会や講演会、研究会、通信教育などにおいて、知見の教授、論文作成指導、文章添削指導を行っている。
臨床教育学	小島 道生	2	教育現場への巡回相談などを長年経験している。
メンタルヘルス	川淵 竜也	2	臨床心理士、公認心理士として、教育現場および医療現場での心理的支援に携わっている。
人間開発学部 共通専門教育科目の合計単位数			6 単位

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
教育課程論（小）	田沼 茂紀	2	公立小学校教諭を経て国立大学教育学部に勤務し、人間開発学部創設時より本学部にて教員養成に携わっている。専門は教育学の分野である道德教育学、教育カリキュラム論等である。
初等科教育法（国語）	片山 守道	2	小学校学級担任小学校教諭として、授業全般を担当し、主にことば、国語科についての実践研究に取り組んだ。
初等科教育法（社会）	安野 功	2	埼玉県公立小学校教諭、教育委員会指導主事、文部科学省教科調査官の経験を活かして、自ら社会科の模擬授業を行ったり、現場の授業実践を取り上げて講義を行うなど実践的な社会科教育を行います。
初等科教育法（理科）	寺本 貴啓	2	静岡県小学校、中学校教諭の経験を活かして、実践的な理科教育を教えた。
初等科教育法（生活）	田村 学	2	新潟県公立小学校教諭、文部科学省教科調査官の経験を活かして、実践的な社会科教育を教えている。
道德教育の理論と方法（小）	田沼 茂紀	2	公立小学校教諭を経て国立大学教育学部に勤務し、人間開発学部創設時より本学部にて教員養成に携わっている。専門は教育学の1分野である道德教育学、教育カリキュラム論である。
特別活動の理論と方法（小）	杉田 洋	2	さいたま市立小学校教諭、国立教育政策研究所、文部科学省での勤務の経験を活かして、実践的で、公的根拠に裏付けられた特別活動の授業を実施。
国語概説	熊谷 芳郎	2	高等学校教員
社会科概説	安野 功	2	埼玉県公立小学校教諭、教育委員会指導主事、文部科学省教科調査官の経験を活かし、現場の授業実践を取り上げて講義を行うなど実践的な社会科教育を行います。
図工概説	山成 美穂	2	・公立小学校における臨時の図画工作科専科教員として指導経験（2年間） ・公立美術館における子どもアートプログラムの企画・ワークショップ講師（4年間） ・子どもアトリエ（絵画・造形）主宰・指導経験（20年間） ・重度知的障害者デイケアセンターにおける創作活動始動（3年間） ・ドイツの青少年対象アートスクールにおけるインターン（4年間） ・4年制大学と短期大学の保育人者養成・教員養成課程における指導法および実技の指導（11年間）
教育の方法と技術（小）	高橋 幸子	2	小学校教諭、特別支援学校教諭として教育実践に取り組んだ実務の経験を生かした授業展開を行う。特に児童理解や個別のニーズに基づく授業計画、配慮について具体的実践的な授業を展開する。
人間開発学部 初等教育学科 専門教育科目の合計単位数 22 単位			

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
人間開発基礎論（人間力育成の人間学）	藤田大誠	2	大学のみならず、神社関連団体や地方自治体、諸学会、メディア等に依頼された各種講習会や講演会、研究会、通信教育などにおいて、知見の教授、論文作成指導、文章添削指導等を行っている。
バイオメカニクス	神事 努	2	国立スポーツ科学センター在籍時の経験を活かし、受講学生が力学の基礎概念を理解でき、バイオメカニクス的な分析、評価法の基礎が理解できることを目標とした授業を行なっている。
スポーツ心理学	伊藤 英之	2	スポーツメンタルトレーニング指導士の資格を所有し、アスリートおよびスポーツチームや団体を相手に心理的指導やサポートをしている教員が、スポーツ心理学の基礎的な理論や指導現場での応用について講義する。
救急法	富田 一誠	2	整形外科医、救急医、スポーツ医として豊富な知識と経験を元に講義を行う。
スポーツ行政論	高松 政裕	2	2007年弁護士登録、2014年 公益財団法人日本スポーツ仲裁機構理解増進事業専門員、慶應義塾大学大学院法務研究科講師「スポーツと法」【法科大学院、JD】(2014年～)、「Sports Law and Dispute Resolution」【LLM】(2018～)
アダプテッドスポーツ	岩沼 聡一郎	2	スペシャルオリンピックス日本 アルペンスキー 認定コーチ 20年、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事 6年、本障がい者スポーツ協会 障がい者スポーツ指導員（初級） 認定科目担当 6年
スポーツアナリティクス	渡辺 啓太	2	バレーボール日本代表チームのアナリストとしてオリンピックでのメダル獲得をサポートした経験がある教員が実務経験を踏まえ、スポーツアナリティクスの実務上の課題や現状を解説し、効果的に活用するためのポイントについて講じる。
ICTの活用	渡辺 啓太	2	バレーボール日本代表チームのアナリストとしてオリンピックでのメダル獲得をサポートした経験がある教員が実務経験を踏まえ、ICT活用の理論と実践について教授する。
人間開発学部 健康体育学科 専門教育科目の合計単位数 16 単位			
幼児と言葉	吉永 安里	2	幼稚園、小学校における教員経験を生かし、児童文化についての知識のみならず、保育場面での活用についての演習も取り入れながら講義を展開する。
保育原理	鈴木 みゆき	2	駒場幼稚園理事（平成7年～平成11年）
子どもの保健	山下 麻実	2	看護師として小児病棟での実務経験および小児看護学を専門とする大学教員が授業展開する。
障害児保育I	野澤 純子	2	保育巡回相談、特別支援学校、児童発達支援領域の心理士経験を生かして、基礎的情報に加え、事例や指導の実際などの具体的な授業を展開する。

令和5年度「実務経験のある教員等による授業科目」一覧（専門教育科目）

科目名	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
保育内容（人間関係）	栴島 香代	2	（社）日本児童手当協会 こどもの城保育研究開発部で3歳未満児の保育、子育て支援など、東京学芸大学教育学部附属幼稚園教諭として保育現場経験がある。
保育内容（環境）	中野 圭祐	2	幼稚園での実務経験のある教員が授業を行う
カウンセリング概論	関 剛規	2	国立障害者リハビリテーションセンターで発達障害支援者養成を担当しています。その前は、18年間、障害児入所施設で直接支援をしていました。「理論」だけではなく、「実践」だけではなく、両方が必要だと考えています。
臨床発達心理	結城 孝治	2	臨床発達心理士資格を活用し、東京都特別区の幼稚園・保育所の巡回相談を行っている。
子どもの食と栄養I	塩崎 麻里子	2	保育園における管理栄養士
社会福祉	廣井 雄一	2	児童福祉施設での勤務経験を踏まえ、授業を進めていく。
社会的養護Ⅱ	麻生 信也	2	現職は児童養護施設の施設長です。
子育て支援システム論	渡辺 英則	2	認定こども園と私立幼稚園の園長子育て支援拠点にも関係した事業を行っている
子どもと自然体験活動	青木 康太朗	2	青少年教育施設で10年の勤務経験がある専任教員が、その実務経験を生かし、野外活動やレクリエーション等に関する実践的な指導を行う。
人間開発学部 子ども支援学科 専門教育科目の合計単位数 26 単位			
プログラミングと数学基礎	仲野 潤一	2	職業プログラマーとして10年以上のプログラミング経験を持ち、加えて数学や計算機科学などの学問的知識を用いてゲーム・サイネージ・教育ソフトウェア・インタラクティブコンテンツ等の開発を行ってきた経験から、プログラミングと数学の親和性に基づいて学修する講義を行う。
民俗学概論	小林 稔	2	博物館学芸員や文化財調査官の勤務経験のある教員が、その実践的知識と経験を生かしつつ、観光まちづくりの理解に向けた一助を講じる。
都市と地域の交通	大門 創	2	技術士として国や地方公共団体の都市政策や交通政策の策定に従事した経験を踏まえ、交通の基礎・政策・事例を概説する。
観光マーケティング	井門 隆夫	2	観光専門シンクタンクにおける各地の地域振興や事業再生を目的としたマーケティング計画策定支援業務の経験を活かした授業を行う。
観光事業論	小林 裕和	2	教員は旅行業、鉄道業、海外勤務など実務経験を有する。観光DX、宿泊DXなど国の事業に関連する委員なども行っている。
行財政概論	稲垣 浩	2	横須賀市都市政策研究所（横須賀市企画調整部）、財団法人自治研修協会で研究員として勤務。自治体の審議会委員、研修講師としての経験あり。
地域の観光情報メディア	楓 千里	2	（株）日本交通公社および（株）JTBパブリッシングに勤務し、観光情報の発信に長年携わる。月刊『るるぶ』副編集長、月刊『旅』編集長を務めた。ソリューションビジネスの担当役員として、自治体や観光協会などの情報発信の推進も経験している。
運輸・観光実践論	後藤 靖子	2	国家公務員（国土交通省）として観光政策や交通政策の立案、実践に携わる。その間、政府観光局（JNTO）ニューヨーク事務所長としてインバウンド誘致を最前線で取り組み、山形県副知事として自治体行政を实践。その後JR九州常務取締役として鉄道・観光ビジネスを实践。現在は、資生堂とデンソーの社外役員として、企業統治の一翼を担っている。地域の観光アドバイザーにも就任している。
博物館教育論	市村 真実	2	世田谷区などの地域博物館学芸員としての実務経験をふまえ、博物館教育の意義や取り組みについて、実際の事例を基にした講義を行う。
観光まちづくり学部 観光まちづくり学科 専門教育科目の合計単位数 18 単位			